献血車 ゆうあい号

献血車「ゆうあい号」の今月の日程と場所は、次のとおりです。市民のみなさんの積極的なご協力をお願いします。

◇とき…2月15日（木）
午前9:30〜3:00

◇ところ…鉄道学園

古今川柳漫歩 (11)

柄目木の筧（かけひ）の火

阿達義雄

江戸川柳のバイブルたる『柳多留』の句、約十五万句の中に、越後関係の句も相当見えるが、皆江戸人士が江戸で想像して詠んだ句ばかりで、実質的の価値の低いものばかりである。

さて、それならば新津を詠んだ句はないかと調べてみると、奇蹟的に唯一句発見することができた。それは天保六年の太丸という人物の句で「新津」という文字はないものの、確かに新津の柄目木を詠んだ句である。

●がらめきの夜機に遣ふ筧の火（一五〇28）

即ち『柳多留』一五〇編28丁目に見えている。

右の句は、柄目木では燃えるガスが出るというからこれを家の中まで「かけひ」で導いて、夜、機（はた）を織るにも、その火で明るく照らして仕事に励んでいることであろうという意味である。右は、想像吟ではないかと思うが、昭和十六年七月の新聞（朝日新聞であったように記憶）に掲載された次の記事が右の句の註釈になるので、その低引用してみよう。

この新聞の標題は「羨ましい火の村」となっている

※　※　※

三百卅年前元和時代のその昔から地中のガスが噴き出し、ぶすぶすと赤い焔が燃え続けてゐる新津町郊外柄目木部落の自噴ガスが貴重な燃料資源時代に見直され、新しい用途へと全部落民が頭をしぼってゐる。

八十六戸の全部落中ガスに恵まれないのは、ほんの数軒、ゐろりからカマド、さては炬燵まで天然無尽蔵のガスをふんだんに使ひ、越後七不思議「火の村」と云はれてゐる珍らしくも羨しい柄目木部落である。其名も火家と云はれる本家本元が同字農業斎藤賢（四八）さん方、同家の古い記録に「元和五巳年六月当家の祖斎藤丈七土火を発見す」と認められ、畏くも明治大帝が御興深く御視察遊ばされたといふゆかりの家だ。

さて、この利用方法はないかと考え出したのが賢さんの先代故君太郎さんで、筧で運んだ湧水をあたためんだり、長い時間悩まずにすみます。

お医者さんも高度な診療技術の修練のためには、勉強する時間が必要です。それにお医者さん自身の健康保持のこともあり、また、そこに働く人たちにも勤務時間があります。

時間外診療は、時間外加算があり、それだけ医療費が多くかかります。

できるだけ決められている時間は守りましょう。

励行しよう 時間内受診

時間外診療は 医療費が割り高

市民のみなさん！お医者さんにかかるときは、時間外受診をさけて、それぞれの医療機関に掲示してある時間内の受診を励行しましょう。

それには、病気と思ったら夜まで様子を見るなどしないことです。早く（時間内）お医者さんにみてもらうなどすれば、病状が悪化しないですむ。

温泉を拵へようといふ計画を当主が引継ぎ、こんど自家用据風呂に応用して上々の好成績を収めたので、企業化に乗り出さうといふわけ、斎藤賢さんの話

「昔私の家の先代が床下に小指ほどの小さな穴からガスが噴いてゐるのを見つけ、爾来、焚物一つ燃やした覚えがなく、隣組では炭の心配も要らない。

この一帯は、石油層地帯で廃坑からは凄いガスが出て、皆なが自宅へ引いてゐるが無駄に遊ばせるのが惜しいといふわけです。新津町の高坪温泉なども現にガスを応用してゐるし、浴場経営やガス配給会社を計画してゐるのです。内燃機関にも応用の可能性が十分ありで完成すれば全くすばらしいでせう。」

（新潟大学名誉教授）

老人クラブ会員の湯治旅行

参加者を募集

今年は老神（オイガミ）温泉

老人クラブ会員の湯治旅行は、年々好評を得てたくさんの参加者がありますが、今年も群馬県の老神（おいがみ）温泉に湯治旅行をと、その参加者を募集しています。

参加を希望される会員のかたは、二月七日（水）までにあなたの所属する会長あて申し込みください。

●実施期日…四月から七月下旬までの間（秋はありません）

●会費…七千五百円

●募集人員…四十名〜五十名（貸し切りバス一台を一団体として、市町村ごとにまとまって出発するため）

熱心に年金を勉強

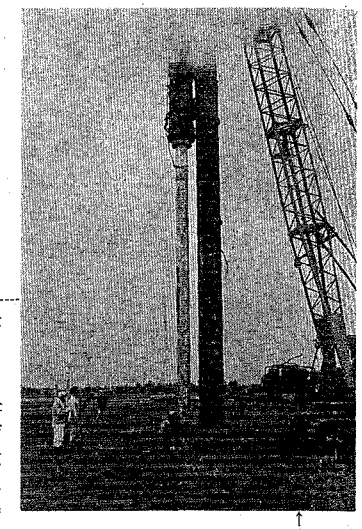
自発的に説明会を要請

“恍惚の人……日本人の老後”など、最近老人問題を扱った図書の売れゆきが急速にのびているとか……。

ひところからみれば、また違った現象かも知れませんが、それだけに老後の問題を真剣に考えている人たちが、いかに多くなってきたかがうかがわれます。

地区の要請による「年金」の説明会でもどれくらい納めて、どれくらいもらえるのだろうか—など、市の係員の話しにも熱心に考え、うなづいていました。

カメラスケッチ

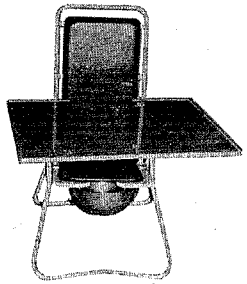


〝ツチ音〟も軽快に

市民会館の建設始まる

バーン、バーンという発動機のツチ音も軽快に、いま市民会館の建設用地では市民の期待を託し、クイ打ちで工事が始まりました。

ことしは、花の芽がおもわずほころびそうな異例の暖冬無雪。工事の進行状態もスタートから懸念されることなく「Vサイン」のようです。



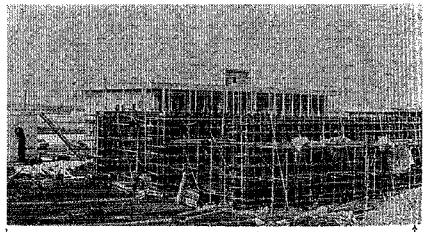
明日を明るく…と「愛の椅子」

県が3台心身障害児に

在宅の重症心身障害児の生活が少しでも便利になるように——看護にあたる保護者の苦労を、いくらかでもやわらげることができたら—と、こんな願いをこめた「愛の椅子」3台が、このほど県からプレゼントされました。

この「愛の椅子」には、テーブルや便器がついていて、食事はもとより坐ったまま用便も……という身障児のための生活備品。

市では、さっそく配分先を決め、それぞれに贈りました。



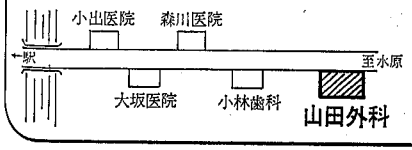
新設「沈砂池」3月完成

確保される大量な飲料水

市の満願寺浄水場では、浄水施設を新設しています。

この施設は「沈砂池」といって、阿賀野川に取水した原水から砂やゴミを取り除き、大量に衛生的な飲料水を確保するための大切なもので、3月の完成を目ざし、工事も急ピッチで進んでいます。

新築落成，駐車場完備　胃腸・皮膚・肛門（ぢ）・泌尿・X線
山田外科医院
新町2丁目1−6　TEL(2)0432



内科・小児科・レントゲン科
大坂医院
新町1丁目6-12　TEL(2)1731

Mi Mi
本町二丁目　TEL(2)6857